



NPO法人 横浜金沢文化協会会報

NPO法人 横浜金沢文化協会  
編集人 野中 建吾  
781-5044  
発行人 橋川 和夫  
理事 幸栄印刷(株)  
716-3366

### NPO法人横浜金沢文化協会

## 理事長の交代 新旧理事長の挨拶

本年6月3日開催の当協会通常総会において、理事長の交代が承認されました。ここに、新旧理事長の就任・離任の挨拶を紹介します。



新任理事長 橋川 和夫  
子供時代、富岡に住んだことから、金沢区には、人一倍愛着を感じ続ける一人です。

平成14年、区長に就任した際、特に感じたことは、金沢区には元気が満ち溢れているという点です。それぞれの地域で様々な活動を通して元気に活躍されている方々が大勢おられることが、まさしく金沢区の宝ではないでしょうか。その活気があるからこそ、区の特徴である「海と緑と歴史」が生き生きとしたものになっているものと確信しました。文化協会もその一翼を担っているものと思えます。

6月の総会で、後藤政也氏の後任として理事長に就任。特段文化的活動を行っている訳でもなく、適任ではないと思いつつも、お声がかかったのも一つのご縁と考え、これまで培ってきた経験や拙い知識の一端がお役にたてればと、お引き受けした次第であります。

現在、区役所と公会堂の建替え計画が進められております。区のホームページで、公会堂が区民の文化施設であり地域文化の醸成の場として位置付けられていることから、今回の再整備は、当協会としても最大の関心事でございます。区民の皆様方の文化活動が、新しい区庁舎と公会堂の場でこれまで以上に活発と展開されるよう、区役所に対して、様々な場面で要望していきたいと考えております。今後とも、役員、顧問、会員の皆様方のお知恵とお力を拝借しながら、職務を遂行してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 退任功労者に対する表彰

8月20日開催した当協会の発足以来201回目を迎えた運営委員会を記念して、林金沢区長をお迎えしての「懇親会」の席上にて、長年にわたって当協会の発展と地域文化振興に著しく貢献され退任された次の3氏に対して、理事長名による感謝状と記念品を贈呈し、表彰しました。



前理事長 後藤政也氏



前副理事長 白井俊一氏



前理事・塚田武男氏(代理)



前理事長 後藤 政也

部長、事務局長、理事長と早くも十数年に及んでいました。

協会設立の志は金沢文庫を創設してこの国の学芸振興を図った北条実時を追慕し、歴史と文化による街づくりを活動の目標にしたことであります。

その後NPO法人に組織変更し責任ある団体として、全員がボランティア精神で更に地域文化の発展に寄与して行くこととしました。只今では発足以来の歴史講演会や文化講演会など、更には文化財保全事業や青少年文化伝承事業は、区役

所との協働事業として発展し、地域社会に貢献して来ています。

さて只今は金沢区には歴史の変革の時期が巡って来ています。高齢化対策はもとより、災害対策上のインフラ問題あり、区庁舎並びに公会堂の整備や八景の東口、西口の開発も進み、世界遺産の街になることもあり、それらが整う数年後には区政70周年がまいります。是非それらには歴史と文化が薫る観光の街としての仕上げの事業が迫って来ています。

このように変革期を迎えたこの時期に、組織を一新して対処して行かなければならず、後任の理事長には元金沢区長の橋川和夫様をお願いを致しました。

又、私は名誉会長の職につきましたので、一員として皆様と共に、このさき文化協会の発展に、又地域社会に少しでもお役に立てればと願っています。

# 金沢区青少年育成事業

## 海苔づくり教室

金沢では明治の初めから昭和40年頃まで、遠浅の乙舳海岸をはじめとして、海苔づくりが盛んでしたが、同海岸一帯の埋め立てが始まり、海苔づくりは収束に向かいました。当文化協会では、文化伝承事業・青少年育成事業の一環として、金沢区役所・金沢街づくりの会・横濱金澤シティガイド協会との共催



により、恒例的に小学生を対象にした「海苔づくり教室(乾し海苔作り)」を行って来ています。今年は、3月25日(日)、野島公園内キャンプ場で開催しました。小学生とその保護者約50人が参加し、主催者側スタッフの指導により、①海苔切り②海苔付け③海苔干しの大きく分けて三つの手順を経て、海苔づくりに専念しました。海苔が乾燥するまでの時間を活用しての「海苔講座」と野島山頂からの「地理教室」も開きました。途中、小雨があり、完全乾燥には至りませんでした。海苔付き簀子ごと持って家路についてもらいました。親子ともども、楽しい有意義な作業に満足した様子でした。

## 塩田による塩づくり

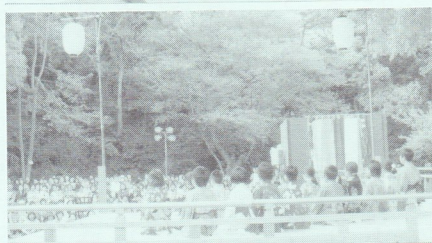
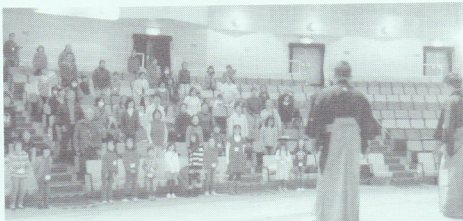


熊野神社にて

昨年まで10年間、塩づくり実行委員長を務めた白井俊一氏と記録に携わった一之瀬氏が勇退、代わって坂実行委員長、深津事務局長を中心に、第11回の塩づくりが2日に亘り行われた。昨年は、東日本大震災の影響で参加小学生が18名に過ぎず、今年も心配されたが48名の応募があった。初日は7月21日(土)9時より区役所中庭会議室にて、実際の道具、スライドを使った塩づくりを学習。前日の大雨により、一旦は塩の道を歩くのは中止の判断がされたが、弁当持ちで保護者との昼食を楽しみにしていた小学生の気持ちを斟酌、危険な鎌倉側に降りず、朝比奈峠の山頂まで歩き折り返し、熊野神社で昼食を取る案でまとまり実行に移された。毎年行程の都合で熊野神社は素通りしていたが、今回は貴重な体験となった。2日目は7月29日(日)晴天に恵まれ、当日参加者小学生38名、父兄スタッフ併せ98名が参加。8時半過ぎから海の公園バーベキュー場側砂浜に塩田を5面設置。海水散布、畝作りを2回



繰り返し、鹹砂の濾過、鹹水採取、煮詰め、にがり抜き等の一連の作業を参加小学生は興味を持って体験。5班とも美味しい塩を採取した。塩づくりの後は、楽しいスイカ割りも実施。熱中症や怪我もなく2時過ぎ無事終了した。



「能の魅力体験講座」と「称名寺薪能」

「金沢区青少年育成事業」の一環として始められた「能の魅力体験講座」は今年で10回目になりました。今回は、「能と狂言は仲よし兄弟」と言うタイトルで、金沢公会堂にて行われ、狂言方大蔵流善竹富太郎先生を迎え、毎回お世話になっている「称名寺薪能」演者、シテ方金春流櫻間右陣先生と共に、能と狂言の話をお聞きしました。狂言の体験では、会場が笑い声に包まれる場面もありました。見たり聞いたり、体験したり、古典芸能に触れることが出来ました。参加した親子ともども、金沢区が能の縁の深い土地であることを理解してもらえたと思います。

今年5月6日の「称名寺薪能」の連吟に、当講座に参加した17名が出演しました。薪能では、金沢区ゆかりの能「放下僧」の小謡を披露しています。一人でも多くの子供たちが、当講座を通じて、古典芸能に興味を持ってもらえることを願っています。

親子の

「能の魅力体験講座」と

「称名寺薪能」

# ヨコハマ金沢フォトコンテスト表彰式

横浜金沢観光協会主催第5回ヨコハマ金沢フォトコンテストが「金沢の四季彩々」をテーマに、区役所と昨年立ち上げられた金沢区写真連盟が共催、神奈川新聞社、横浜金沢文化協会後援の形で実施され、平成24年3月末で応募を締め切ったところ、79名の応募があった。第1次審査は4月7日(土)金沢区写真連盟の先生方で行われ、入賞者30名30点がまず選ばれ、4月13日(金)第2次審査が横浜金沢観光協会において、厳粛に行われた。TVKコミュニケーションズ映像担当・元神奈川新聞社映像部長大河原雅彦氏を審査委員長とし、最優秀賞1点、優秀賞3点、入選10点、佳作15点選ばれた。

6月6日(水)11時より、金沢区民活動センターにおいて、林琢己金沢区長を来賓にお迎えし、入賞者の表彰式が開催された。式は、片桐爲義横浜金沢観光協会会長挨拶の後、表彰式に移り、当日参加の受賞者一人

一人に賞状、入選者以上には副賞が手渡された。来賓の祝辞に続き、大河原審査委員長の講評があり、最後に受賞者を代表し、「雨の称名寺」で最優秀賞に輝いた小崎敬司氏より喜びの謝辞があった。表彰式終了後、区役所2階の作品展会場にて、金沢区写真連盟理事長、二科会写真部会員片岡順一氏によるギャラリートークがあった。作品展は各地区センターを巡回し、9月15日(土)から28日(金)まで「ゆめかもん」での展示をもって終了する予定。



## 金沢吹奏楽団創立50周年記念 第41回定期演奏会

「かなすい」の愛称で親しまれている金沢吹奏楽団は、創立50周年を記念した定期演奏会を6月16日(土)に横浜みなとみらい大ホールで友好団体の高山市民吹奏楽団(岐阜県)とのジョイント・コンサートにより開催した。

第1部は、常任指揮者岩本伸一氏の指揮で、ショスタコーヴィチの「ジャズ組曲」を皮切りに、クラリネット・ソロに名古屋芸術大学の竹内雅一氏を招聘し、スパークのクラリネット協奏曲を、そして、1部の最後には、ヴァンデルローストの最新作かつ難曲の「オスティナーティ」という吹奏楽ファン垂涎のプログラムで、聴衆を圧倒した。

また、第2部では、吹奏楽ポップスの神様とも言える岩井直博氏の華麗なアレンジによるポップスステージに、家田めぐ美によるヴォーカルが華を添えるなど、

1部とは全く趣向を変えた楽しいステージが展開され、吹奏楽の幅広いレパートリーで聴衆を魅了した。

加えて、斎藤真理恵(ピアノ)、佐藤茂基(ギター)、中村奈央(クラリネット)、滝上典彦(サキソフォン)、栃本浩紀(トランペット)、秋田孝訓(パーカッション)、寺田由美(マリンバ)といった「かなすい」緑りの豪華プレーヤーが随所に名演をちりばめるなど、記念すべきこの50周年コンサートを一層煌びやかなものとした。



閉会した。

以上、各議案とも異議なく承認され、橋川新理事長挨拶の後、総会は2時20分

5名  
理事重任 19名  
監事重任 2名  
理事退任 9名  
任期満了に伴う役員選任の件

第3号議案  
平成24年度事業計画案並びに収支予算案

第2号議案  
平成23年度事業報告並びに収支計算報告

第1号議案  
議長は次の通り。

来賓の林区長、続いて黒川市会議員から議員団を代表して祝辞があった。議長には野中副理事長が選出され、議事録署名人に後藤理事長、榎本理事が選任された。

理事は次の通り。

午後1時、金沢産業振興センター大会議室にて、平成24年度総会が開催された。

司会は坂事務局長。会員総数145名。委任状含め110名出席。冒頭に後藤理事長の挨拶の後、

来賓の林区長、続いて黒川市会議員から議員団を代表して祝辞があった。議長には野中副理事長が選出され、議事録署名人に後藤理事長、榎本理事が選任された。

議長は次の通り。

午後1時、金沢産業振興センター大会議室にて、平成24年度総会が開催された。

司会は坂事務局長。会員総数145名。委任状含め110名出席。冒頭に後藤理事長の挨拶の後、

来賓の林区長、続いて黒川市会議員から議員団を代表して祝辞があった。議長には野中副理事長が選出され、議事録署名人に後藤理事長、榎本理事が選任された。

議長は次の通り。



NPO法人  
横浜金沢文化協会  
通常総会

# 『横浜金沢を詠う』

## 平成23年度後期 俳句・短歌(第7回)表彰式

横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会主催の「俳句短歌ポスト制度」の第7回(平成23年度後期)表彰式が4月25日(水)、金沢区民活動センターにて行われました。  
次に被表彰作品を紹介します。

### 【俳句の部】

☆横浜市金沢区長賞

(天位) 鯨釣の真上をよぎるモノレール  
保土ヶ谷区仏向西 桑本 俊洋

(地位) 仁玉門開き丹の橋淑氣満つ  
金沢区金利谷東 村上 浩子

☆横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会会長賞

(天位) 名物のけやき芽吹し手子神社  
金沢区金利谷南 宮島 静枝

(地位) 琵琶島は花道のごと春の海  
金沢区大道 大関 幹雄

☆横浜金沢文化協会理事長賞

(天位) 立春の光あまねし二松庵  
金沢区高舟台 有賀 鈴乃

(地位) 巨櫃の根こそ確かや寒の入  
瀬谷区本郷 小倉 喜和

☆横浜金沢観光協会会長賞

(天位) むらさきに琵琶島暮るる片時雨  
金沢区金利谷南 橋場 美篤

(地位) 宮川の冬の木立や墨絵めく  
金沢区金利谷西 福田 静江

☆横浜金澤シティガイド協会理事長賞

(天位) 金沢に塩の道あり秋日和  
栄区本郷台 秋元 孝之

(地位) 大正の玻璃戸越しなる冬日差  
港南区日野南 金子 きよ

### 【短歌の部】

☆横浜市金沢区長賞

(天位) ゆるる藻をかいぐりては泳ぐ鯉  
待従川にも春の来てをり  
金沢区六浦 佐藤 良二

(地位) 津波がれき小柴湾岸浮き沈み  
行方は何処災地身にしむ  
金沢区長浜 柳原 米一

☆横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会会長賞

(天位) 高空に鳶はいくつも輪を描き  
小柴漁港に舟かへりきぬ  
金沢区能見台 仁藤 和子

(地位) シーバラの花火弾けて年明けける  
儂いけれど空に浸み込む  
金沢区東朝比奈重葎杉本ありさ

☆横浜金沢文化協会理事長賞

(天位) 夕風の乙軸の海さらめきて  
海苔箸うつす影ゆれやまず  
金沢区泥亀 米長百合子

(地位) 金沢の動物園は三十年  
オカビ加わり子の声弾む  
金沢区東朝比奈 津田美奈子

☆横浜金沢観光協会会長賞

(天位) 被災地への祈りをこめて打ち鳴らす  
大太鼓河ゆる公会堂に  
金沢区金利谷東 秦 正子

(地位) 落葉のせゆるりと海へ谷津川よ  
潮の干満街なかで知る  
金沢区西柴 内藤 和子

☆横浜金澤シティガイド協会理事長賞

(天位) 在りし日の母と訪いし待従川  
寒夕焼けに水鳥浮かぶ  
金沢区片吹 赤羽 康夫

(地位) 人気なき岸に寄せ来る青海苔の  
色と香りに暫し佇む  
金沢区平潟町 本間 和子



# 文芸部活動報告

## ☆金沢区民俳句大会結果☆

金沢俳句会では6月3日(日)、金沢地区センターに43人の俳句愛好者を集めて、第14回「金沢区民俳句大会」を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

打ち水を跳び越えてゆく男下駄

朝比奈を切通しけり青嵐

初夏の海切り絵のような貨物船

野仏を美顔とさせし緑雨行く

商談の決まり一献はつ鯉

梅漬けてあと一年を生きのびる

姿見に肢態くねらせ衣替

走り根の脈打つごとし夏さざす

羽搏きや夢大空へ朱鷺巣立つ

住き日どり決めて新茶を汲みをりぬ

## ☆金沢区民短歌(春季)大会結果☆

金沢区民歌人会では4月29日(土)、八景コミュニティハウスに29人の短歌愛好者を集めて、「金沢区民短歌(春季)大会」を開催しました。次に上位の作品を紹介します。

両の手に土柔らかくほぐれゆく

早春の畑に枝豆を播く

病みてより日々座りいし亡夫の椅子

ぬれ縁に出し日なたばこさす

「この坂がきつい」と言ひるし母のことは

今蘇るわがこととして

菜の花のなだりに座る園児らの

スケッチブックも菜の花盛り

子はゲーム母はケータイ目を遣りて

ことば交さず電車を降りぬ

「おやすみ」と電話の奥に言ひ交す

来る筈の明日やさしからむか

たまゆらを降る牡丹雪手にうけて

わが望郷の思いつのり来

鉢植えの紅の梅咲きそめて

冬枯れの庭に小さき春の来

松本 隆男

赤嶋 昌夫

梶川 礼子

柴崎 幸治

惣野 圭子

田所 正章

小幡 友子

戸田 澄子

田中 十九

山口 功

光岡コト子

笹村 律子

秦 正子

田中 正子

佐藤 良二

小林 愛子

朝井 恭子

後藤 恵市

# 各 種 茶 会



平成24年 4月22日(日)に、金沢茶道会会員による茶会が行われました。文化財として復元されました部屋「夕照の間」において、花の可愛らしさ、お軸彩々が掛けられ、着物の方、洋服の方それぞれに彩られ楽しく会話が流れ、文化財の建物の中での一服を味わっておられました。庭の松も歴史を感じ、ぼたん園も復元され、年々大きくなって参りました。市民の皆様開放され、安らかな場所となっており。席主の心入れのお茶、お菓子、お道具を見ながらの穏やかなお茶の一日でした。来年もどうぞ博文邸茶会にお出掛け下さい。

## 旧伊藤博文金沢別邸茶会

## ライオンズクラブ慈善茶会

4月8日(日)、三溪園鶴翔閣にてライオンズクラブ主催による慈善茶会が開筵されました。園内は桜が満開の日曜日とあって花見客で大変賑やかでした。お香が焚かれた茶席では、床に原三溪の書【雲無心出岬】の幅を掛け、大島桜、ソメイヨシノを青銅の花瓶に生けました。お菓子の「さくら」が青磁の器に盛られますと、青空に桜が咲いているイメージとなり、玉露の「甘露」の馥郁たる味と共にお客様から感嘆の声が上がりました。煎茶道の茶席で玉露の美味しさを初めて味わう方も多く「和敬清談」の如くお客様共々楽しい一時を過ごしました。この奉仕活動に参加して十余年。これからも金沢煎茶道会(松香庵流)の会員として続けたらと思っております。



## あじさい祭り茶会

平成24年度のあじさい茶会は、1回目6月17日(日)、2回目は6月24日(日)と2回にわたって行いました。前年度の客船ターミナルが好評でしたので2回になり、あじさいと海を見ながら涼しい席で一服のお茶を楽しんで頂きました。あじさいの花も年々大きくなり、コースも皆様なれて楽しんでおられる様子も見うけられました。大勢の方々が茶席に入り、日本の美味しさと文化を味わって



頂きますよう  
お誘い致します。  
来年のあじさい祭にはどうぞお出掛け下さい。  
金沢茶道会一同  
お待ちしております。

## 二松庵・春の野点

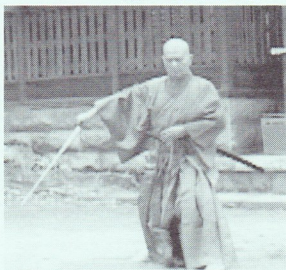
旧川合玉堂別邸での春のイベントの野点席が、5月5日(土)、当文化協会会員の金沢茶道会により設けられました。暖かく清々しい晴天に恵まれ、展望広場に設けられた新緑の中の茶席は、終始、客の絶えることなく、茶席に入られた延約350人の入園者は、和気藹々と存分に野点の時間を楽しんでおられました。



この春の野点は、同別邸7年前に開園されてからの恒例行事となっております。金沢区には、文化財が数多ありますが、ここ、旧川合玉堂別邸は、その代表的存在で、特に茶席を設けるには格好の場所と思えます。別邸を鑑賞し、野点を堪能されて帰られる方々の笑顔を見ていると、嬉しく思いました。

## 第11回 瀬戸神社居合道奉納演武 十周年記念大会

十年一昔と言われますが、参加流派・参加人員を比べると、その間の変化が1層はつきりします。第一回目は6流派、延26名でしたが、今回は10流派、66名になっております。プログラムの内容を見ても、一回目は、居合の演武が中心でしたが、今回は、居合の他に真道夢想流の杖道、中村流の八方斬、全日本銃剣道連盟の銃剣道の形など、多彩な演武が行なわれ、見学者の目を引き付け、そして大喝采を浴びました。このように、本大会が年を追うごとに隆盛、充実して来ましたのも、横浜金沢文化協会の後援と多くの来賓の方々のご理解・ご支援の賜と、この場をお借りして深く感謝申し上げます。



# 第11回 金沢スプリングコンサート

毎年好評を得ている「金沢スプリングコンサート」も、今年で第11回目を迎えました。小幡様、龍華寺和田様、浅野様をはじめ大勢の方々のご奉仕とご協力により、今年は5月3日(木・祝)、金沢公会堂にて、大盛況のうちに開催されました。ご協力頂いた皆様、コンサートにいらした皆様に心よりお礼申し上げます。当コンサートは金沢スプリングコンサート実行委員会主催で、金沢ふれあいコンサート実行委員会、NPO横浜金沢文化協会、金沢区仏教会の協賛のもと、日本の唱歌や懐かしい歌を、一緒に楽しんで頂ける参加型のコンサートとして毎年開催しております。収益金は、社会福祉協議会、NPO横浜金沢文化協会、NPO海辺つくり研究会に寄贈させて頂いており、地域の事業発展等に役立たせて頂いております。今年はメンバーも新たに華やかな公演となりました。今後とも、皆様に喜んで頂けるよう尽力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

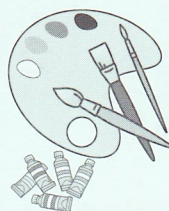


金沢区書道協会は、7月4日(水)から9日(月)までの間、横浜市磯子区民文化センター・杉田劇場ギャラリーで「第26回金沢区書道協会展」を開催しました。この会場で、新しく着任された林金沢区長様がお見えになり、色々とご質問・ご感想を述べられ、そのご見識の高さ・豊かさに感じ入った次第です。会場には、墨の香りが、観る人の心を優しく包み、落ち着いた和の雰囲気を感じていました。強い漢字には命の活力が感じられ、文字のない余白の部分にも何か隠れた意味があるのかと思いを巡らせます。瀟灑な仮名書きには美しい日本女性の色香を感じます。また、近代詩文の文字そのものに意味を伝えて表現するのも興味を惹かれました。それぞれの作品が、美しい衣装により、一層端正な魅力を備えたものとなりました。

## 第26回 金沢区書道協会展



## 第4回 金美協展の開催



金沢区美術協会は、区民の美術意識の高まりを受けて、「見る楽しみ」「描く楽しみ」「発表する喜び」をテーマに活動して来まして、会員数は98名(7月末現在)になりました。

この度、横浜市民ギャラリーにおいて6月25日(月)から6月30日(土)までの間、NPO法人横浜金沢文化協会の後援を得て、「第4回金美協展」を開催しました。出品者数は60名、出品点数は、油彩・水彩・水墨・日本画・彫刻等89点でした。来館者は1600余名にもなり、金沢区民の美術活動に対し多くの関心が寄せられ盛会裏に終えることが出来ました。

## 畠山六郎重保公廟所清掃



地元町内会・顕彰会と横浜金沢文化協会有志は、畠山六郎重保公の命日に当たる6月22日に向けての6月5日(火)、廟所内外の草刈り清掃を実施し、雑草(大部分がドクダミ)を45リットル袋27袋分刈り取りました。廟所の場所は、白山道トンネル釜利谷南側傍の森の中で、歴史散策には格好の場所です。



除草を行いました。2、3日前に雨が降ったせいか、比較的容易に引き抜くことが出来ました。清掃後の中庭は、黒松の配された芝生が見違えるほど青々と太陽に照らされ、風光明媚な金沢八景に相応しい清々しい一幅の絵のようでした。



旧伊藤博文金沢別邸運営協力会による春の除草清掃活動が4月25日(水)の午前中に行われました。除草作業員は横浜金沢文化協会、横濱金澤シティガイド協会、金沢八景の自然と史跡を守る会の会員および地元の乙船町内会、野島町内会の方々と、海を望む中庭の芝生の中に芽吹いていた雑草を、手で一本一本引き抜いて清掃しました。また、牡丹園は、通路脇の日頃清掃の手の届きにくかった場所の除草を行いました。

## 旧伊藤博文金沢別邸 春の除草活動

# 赤ひげ先生

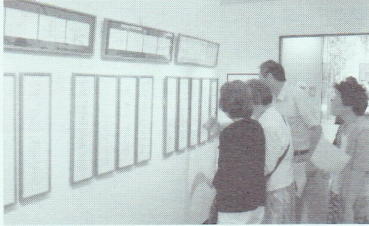
## 二五三回忌法要

「赤ひげ先生」こと小川笙船は、江戸時代中期の医者で、目安箱を通じて、貧しい病人を救う施薬院を提案したところ、8代将軍・徳川吉宗がこれを採用して開設された「小石川養生所」の初代肝煎(院長)に就任して「医は仁術なり」を実践した名医と伝えられています。晩年は、金沢八景に居住し風流を好み、「山にいては海を語り、海にいては雲を語る」との言葉から「雲語り」と名乗り、遺言で太寧寺に墓が作られました。この墓は昭和18年、戦時疎開で現在の片吹に移転されて一時行方不明となりましたが、子孫の小川明氏と檀家・文化団体の人々により再建されました。今年6月14日(木)、片吹の臨濟宗海蔵山太寧寺にて、先生の二五三回忌の法要が行われました。



## 会員の個展鑑賞記 川浪舎人色鉛筆植物画展

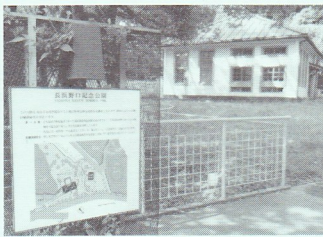
当文化協会理事(絵画部)・川浪舎人氏の個展が8月29日(水)から9月4日(火)までの間横浜そごうデパート9階の「ギャラリーダダ」で開催された。今回は、植物の四季折々の移り変わりを1品種4枚を1組として展示されており、我々馴染みの植物が、お淑やかに控え目に自己主張しているようで好感が持たれた。勿論、川浪氏の写生力が確実かつ巧みで、それにプラス、植物に対する愛情の深さが如実に感じられた。残暑厳しい折りながら、この植物画を鑑賞すると、爽やかな涼しさを感じ、良き眼の保養が出来たと、その場を離れるのを、暫し躊躇う程であった。



# 団体会員紹介

現在、区内の横浜市長浜ホールに、「旧細菌検査室」が附置されており、ここは明治32年6月から4ヶ月間、22才の野口英世が海港検疫医官補として勤務した所です。廃墟処分寸前の建屋でしたが、有志の18年に及ぶ保存運動の結果、平成9年5月「長浜・野口記念公園」として新しい形で開園・開館しました。併せて平成10年には、それらの有志を中心に、野口博士の偉業を顕彰し検査室の保存と活用を図ることを目的に野口英世細菌検査室保存会が発足しました。

事業として、会報「長浜通信」の発行、「野口パネル展」「野口講演会」「夏休み小学生体験学習教室」等を開催。金沢委員会は、金沢区内諸機関組織との折衝・連携を円滑に進めるため、平成20年に「金沢区制60周年・横浜開港150周年」記念事業への参加を機会に、保存会の一部門として発足した組織です。現在委員10名。随時会員募集中。



野口英世金沢委員会

生涯現役かなざわ会 代表 門口 泰宣  
“生き生きとした人生と、心の触れ合いを地域で見つけよう”を合言葉に、「生涯現役かなざわ会」は1993年1月に設立。地域の中で孤立しているシニアの人々を対象として、相互の自主的な仲間づくりを通して、自分の生きがいを見つけ、地域社会の活性化に貢献することを目的としている。会員数は約160名、男性が70%を占める特異な団体である。「遠くの人より、近くの他人」と地域密着型の交流を重視している。主な活動は、全体の例会と位置づける年6回開く、生涯現役講座(各界の有識者を招き、多彩なテーマでの講演会と好奇心をかきたてる趣味や学習、健康維持等の目的別に編成されるグループ単位の日常生活動を柱としている。



# 個人会員紹介



金沢区吟剣詩舞道連盟 大川 岳要  
多人数を持つて、昭和・平成の世にはびこってきた我々「団塊の世代」も60歳を超えてしまいました。20代半ばでこの道に入門した私は、以来30数年間詩吟と付き合ってきました。町内会の敬老会で初舞台を踏んだ「若い」私は、当時のお年寄りに喜ばれたものです。時は流れ私も年を取りました。所属の会の行事の他に、文化協会を通じて結成された「連盟」の剣詩舞・吟詠の方々とは活動できるのは嬉しい事です。今後とも宜しくお願いします。



総合文化部 浅岡 秀志  
旧伊藤博文金沢別邸  
三周年記念祭を迎える「旧伊藤博文金沢別邸」は、壊れ朽ち果てそうな建屋を解体し、残されていた設計図を基に復元されたものです。その背景には平成14年12月17日に行われた金沢文化協会の活動(第1回伊藤博文公別邸の清掃作業)があり、これにより保存活動が活性化され実現し、現在に至っています。思索し思いを伝え、これに耳を傾け、知恵と経験から対応して下さった素晴らしい先輩や協力者があっての事でした。

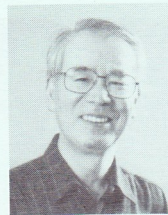
文化協会行事予定(日程順)

9月16日(日) 真言宗御室派知足山龍華寺 歴史講演会「永島家と金沢」	10月10日(水) 14日(日) 兼増センター体育館 金沢区民文化祭・区民の作品展	10月13日(土) 14日(日) 兼増センター噴火講堂 金沢区民文化祭・華道展	10月14日(日) 兼増地区センター2階和室・ロビー 金沢区民文化祭・茶会	10月20日(土) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・吟と舞の祭典	10月21日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢区音楽のつどい	10月 野島公園 第23回金沢区民俳句(吟行)大会	10月28日(日) 旧伊藤博文金沢別邸野島公園 旧伊藤博文金沢別邸復元三周年記念祭	11月 八景コミュニティハウス 金沢区民短歌大会	11月3日(土) 祝 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢三曲演奏会	11月4日(日) 金沢公会堂 金沢文化フェスティバル	11月22日(木) 27日(火) 能見台地区センター 第5回金沢区美術展	11月25日(日) 金沢公会堂 兼増地区文化祭・兼増シンフォニカバンドコンサート	12月2日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢区日本舞踊連盟公演	12月9日(日) 金沢公会堂 金沢区民文化祭・金沢区小・中学校音楽祭	12月13日(木) 臨濟宗建長寺派海蔵山大寧寺 歴史講演会「赤ひげと金沢」	12月23日(日) 金沢公会堂 「かすみ」クリスマス・チャリティー・コンサート	3月23日(土) 野島公園 海苔作り教室
(783) 8760	(788) 7806	(701) 0711	(773) 9297	(783) 2284	(771) 8783	(781) 5044	(788) 1919	(782) 1055	(781) 1483	(783) 8760	(701) 2445	(788) 2691	(784) 4353	(771) 6167	(783) 8760	(090) 7189 (786) 5298	(788) 7806

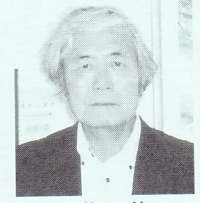
個人会員紹介



華道会 鈴木 豊水  
金沢華道会の一員としてその行事、金沢区役所・金沢文庫・金沢地区センターの花席と川合玉堂邸の床の間に交代で季節の花を豪華に、或は花は野にあるようにを心して生けさせていただいています。伝統文化であるいけば花は、聖徳太子の時代に仏前供花としたのが始まりですが、文献に現れてからも550年の歴史があります。現在は形も花材も生け方も多種多様です。精神をなごませる不思議な力を持っている花、事ある毎に花葉を身近に飾りたいものです。



写真部 坂井 猛  
定年退職を機に、文化協会主催の「初心者写真教室」に参加、教室終了後並木カメラサークルを結成したのが写真を始めたきっかけです。しばらく団体として写真部に参加して「私達の金沢写真展」の開催等に協力しながら地域の文化祭に参加するなど活動してきました。現在は個人会員として区内写真活動活性化の為に協力できることを模索中です。写真を通じて豊かな人生を楽しむお手伝いが出来ればと願っています。



絵画部 三浦 正雄  
町工場の多い東京は蒲田にて少年期・青年期を過ごし、戦後の混乱期には、少年野球チームを作り、少年向け映画会・子供運動会の開催等、少年の健全育成活動に微力を尽くしました。結婚後、富岡西の住人となり、約54年が過ぎましたが、定年後は若年時からの趣味であった絵画に没頭するようになりました。現在は創造美術会会友・金沢区美術協会役員・横浜金沢文化協会理事(総合文化部門担当)として当協会の益々の発展の一助を担って行くつもりです。



総合文化部 深津 米男  
金沢区に住まいまして、35年になります。市立中学校の教員をしていました。小田中学校や大道中学校で管理職を経験し、その時に初めて地元金沢区との関わりが始められました。退職を機に、横浜の中で歴史的に様々な文化遺産を持つ「金沢」という地域をもっと知りたいと考えていたところ、お誘いを頂いて入会をいたしました。今後、微力ながら皆様の活動に少しでもお役に立てればと考えています。よろしくご指導のほどお願いいたします。



合唱部 宮崎 裕子  
昭和53年夏、まだ街の形態が出来ていない並木へ入居しました。生まれ育った東北の地より、夏は涼しく、冬暖かい並木で、呑気に歌いながら子育てをしました。現在、富岡コールとコロ・ネオマリカで歌っています。ヘタノヨコズキが長続きしているのは、「たかが歌」ですが、人との繋がりで、「されど歌」を認識させられ、離れられないものを感じるのです。歌う事で多くの方とお付き合い出来る事がとてもしあわせです。

編集後記

陽春の頃から酷暑に耐えて残暑の候までの、皆様のご活躍の成果をまとめました。今後とも皆様の益々のご清栄とご活躍をお祈り申し上げます。

編集委員

- 一之瀬 炯次・氏家 總子・榎本あけみ・小櫃 健一・橘川 和夫・後藤 政也・佐野史瑞子・白井 俊一・鈴木 稔・田宮 初重・野中 建吾・坂 直孝・森川 淳子
- (五十音順)